

事 務 連 絡

令和6年9月25日

各都道府県建設業協会

事務局 御中

一般社団法人全国建設業協会

労 働 部

「建設産業の担い手確保に向けた女性・若者の入職・定着の促進支援業務」
に係るアンケート調査への協力依頼について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の活動に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国土交通省と業界団体においては、建設業界における女性の更なる活躍や定着を目指して、平成26年に「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」、令和2年に「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」を策定し、官民を挙げた取り組みを進めてきました。

今般、前回の計画策定から約5年が経過し、建設産業を取り巻く情勢が変化していることを踏まえ、これまでの取組を振り返るとともに、建設産業における女性活躍・定着の更なる促進に向けて、新計画の策定を予定しているところです。

今後、新計画策定の参考とするため、国土交通省より本会宛てに、別添のとおり、建設産業における女性活躍・定着に関する広報戦略や新たな活動領域、働き続けるための環境整備等に係るアンケート調査の協力依頼がありました。

つきましては、貴会会員企業の方々に対し、本調査につきまして、ご周知いただきますようお願いいたします。

なお、アンケート調査の回答期限につきまして、**10月4日（金） 12:00**と非常に短くなっておりますが、可能な限りこの期限までにご回答いただきたいとのことです。難しい場合は、**10月11日（金）**までにご回答いただきたいとのことです。何卒よろしくをお願いいたします。

以上

(担当：労働部 菅原、吉田)

2024年9月20日

関係者各位

国土交通省不動産・建設経済局建設振興課

国土交通省「建設産業の担い手確保に向けた 女性・若者の入職・定着の促進支援業務」に係るアンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、国土交通行政・建設産業行政にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、早速で恐縮ですが、「建設産業の担い手確保に向けた女性・若者の入職・定着の促進支援業務」に関連して、アンケートへご協力をお願いしたご連絡いたしました。

国土交通省と業界団体においては、建設業界における女性の更なる活躍や定着を目指して、平成26年に「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」、令和2年に「女性の定着促進に向けた建設業行動計画」を策定し、官民を挙げた取り組みを進めてきました。

前回の計画策定から約5年が経過し、建設産業を取り巻く情勢が変化していることを踏まえ、これまでの取組を振り返るとともに、建設産業における女性活躍・定着の更なる促進に向けて、新計画の策定を予定しております。

それに伴い、本年8月には「女性活躍・定着促進に向けた実行計画検討会(第1回)」を開催し、国土交通省、(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)建設産業専門団体連合会、(一社)全国建設産業団体連合会、建設産業女性定着支援ネットワーク、(一社)住宅生産団体連合会を交えた議論を行いました。

今後、新計画策定の参考とするため、建設産業における女性活躍・定着に関する広報戦略や新たな活動領域、働き続けるための環境整備等に係る情報収集を行いたいと考えております。

つきましては、新計画策定の参考とさせていただくため、貴団体の所属会員企業様に対し、アンケートのご協力をお願いしたいと考えております。所属会員企業様より以下のアドレスよりアクセスいただきご回答賜れましたら幸いです。 <https://forms.office.com/e/p9qJ7XCadd>

誠に勝手ながら、回答期限は **10月4日(金)12:00** とさせていただきます。

なお、アンケートの回答内容を本業務以外に活用することはありません。

ご多用のところ大変恐縮ではございますが所属会員企業様に転送いただき、アンケートにご回答いただけますと幸いです。

草々

記

アンケート概要

所要時間： 約 15 分程度

実施方法： Forms(オンラインのアンケートフォーム)

内 容： 各社様の基本情報、現行計画の認知度に加え、「女性活躍・定着促進に向けた実行計画検討会」に上げられた3つの重点テーマを中心にお伺いするアンケートになっております。

① 女性の入職促進に向けたきめ細かい広報戦略の展開

② 新たな活動領域への着目

③ ハード・ソフト両面からの環境整備

補足事項： ・本アンケートは、国土交通省から「建設産業の担い手確保に向けた女性・若者の入職・定着の促進支援業務」を受託した「デロイトトーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社」が作成しております。

・個別企業様で回答いただきますので、各団体様から会員様等への配布回収や集計の必要はございません。

・回答内容は新計画の検討において使用させて頂く場合がございます。

・また、調査結果は上記の目的以外に使用することはありません。調査回答は統計的に処理したうえで活用するため、回答企業が特定されるようなことはありません。貴社の現状にもとづきご回答いただきますようお願いいたします。

・なお、アンケート項目においては、各団体様の会員企業様になじまないものもございますので、その間に関しましては空欄、0または中間値等のご回答でかまいません。

情報取扱： アンケート結果を含む調査結果を取りまとめた報告書・資料等は、一般に公開される可能性があります。なお、記載内容等に関しましては、ご相談しながら対応させていただきます。

担当・問い合わせ先

(国土交通省)

不動産・建設経済局 建設振興課 森岡 morioka-h2ac@mlit.go.jp / 03-5253-8111(直通)

(デロイトトーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社)

インフラ・公共セクターアドバイザー

吉村・近谷 empower@tohmatsumsu.co.jp / 070-3325-5758

以上

令和6年度 建設産業における女性定着促進に関する実態等調査

● 本調査について

- 建設産業における女性の定着促進に向けて、就業継続につながる柔軟な働き方などの取組実態を把握する目的で実施するものです。また、国土交通省では今年度「建設産業における女性活躍・定着に向けた実行計画」の新計画を策定予定です。そのため、回答内容は新計画の検討プロセスにおいて使用させて頂く場合がございます。
- 新計画の重点テーマ（案）
新計画策定にあたり開催された「第1回建設産業における女性活躍・定着に向けた実行計画検討会」にて提示された以下重点テーマ（案）に沿ったご質問もさせていただきます。
 1. 女性の入職促進に向けたきめ細かい広報戦略の展開
 2. 新たな活動領域への着目
 3. トイレの環境整備・理解の促進などハード・ソフト両面からの現場における環境整備
- 調査結果は上記の目的以外に使用することはありません。また、調査回答は統計的に処理したうえで活用するため、回答企業が特定されるようなこともありません。貴社の現状にもとづきご回答いただきますようお願いいたします。

● 回答方法について

- 選択肢のある設問には該当項目にチェックを、記入欄がある設問には具体的な数値や記述をご入力ください。
- 「*」がついているのは、回答が「必須」の設問です。
- 各設問について、令和6年4月1日現在の内容を記入してください。

回答期限 令和6年10月4日(金) 12:00

【ご質問内容】

1. 貴社の概要について

会社名* (支店)	()
所在地*	[]都道府県 []市区町村
建設業許可* (1つ選択) <small>※大臣・知事の両方の許可をお持ちの場合は、大臣許</small>	1 国土交通大臣(特定) 3 都道府県知事(特定) 5 なし 2 国土交通大臣(一般) 4 都道府県知事(一般)

可の方を回答してください			
所属団体* (複数回答可)	1 (一社) 日本建設業連合会 2 (一社) 全国建設業協会 ((都道府県)〇〇 建設業協会) 3 (一社) 全国中小建設業協会 4 (一社) 建設産業専門団体連合会 5 (一社) 全国建設産業団体連合会 6 (一社) 住宅生産団体連合会 7 上記以外の団体 () 8 所属団体不明		
兼業の割合* <small>※直近事業年度の売上高のうち兼業売上高が占める割合を回答</small>	1 兼業売上高が全体の 80%以上 2 兼業売上高が全体の 50%以上～80%未満 3 兼業売上高が全体の 20%以上～50%未満 4 兼業売上高が全体の 20%未満 5 兼業はしていない		
就業者数* (1つ選択) <small>※役員や期間の定めのある社員及び直接的な雇用関係がない社員を除く全就業者の数</small>	1 1人	4 10～29人	7 300～499人
	2 2～4人	5 30～99人	8 500～999人
	3 5～9人	6 100～299人	9 1,000人以上
資本金 (元入金)* <small>※0円の場合は、空欄ではなく「0」(ゼロ)と記入してください。</small>	千円	完工高(売上高)* <small>※直近事業年度の完工高</small>	千円
主な業種* (複数選択可) <small>※営業実績のある主な業種に○をしてください。</small>	1 土木工事業 11 鋼構造物工事業 21 熱絶縁工事業 30 測量業 2 建築工事業 12 鉄筋工事業 22 電気通信工事業 31 地質調査業 3 大工工事業 13 ほ装工事業 23 造園工事業 32 建設コンサルタント 4 左官工事業 14 しゅんせつ工事業 24 さく井工事業 33 その他() 5 とび・土工工事業 15 板金工事業 25 建具工事業 6 石工事業 16 ガラス工事業 26 水道施設工事業 7 屋根工事業 17 塗装工事業 27 消防施設工事業 8 電気工事業 18 防水工事業 28 清掃施設工事業 9 管工事業 19 内装仕上工事業 29 解体工事業 10 タイル・れんが・ブロック工事業 20 機械器具設置工事業		

2. 女性就業の現況について

問2-1 就業者数・採用人数等についてご記入ください(役員、派遣社員、アルバイトは除く)。*

注) 該当者がいない場合は、空欄ではなく「0」(ゼロ)と記入してください。

	社員総数*	
		うち女性数*
1. 技術者* (設計職含む)	問 15 1-1	問 16 1-2
2. 技能者*	問 19 2-1	問 20 2-2

	2024年度	
	採用総数*	うち女性数*
1. 技術者* (設計職含む)	問 17 1-3	問 18 1-4
2. 技能者*	問 21 2-3	問 22 2-4

3. 事務系*	問 23 3-1	問 24 3-2
4. 上記以外*	問 27 4-1	問 28 4-2
合計*	人	人

3. 事務系*	問 25 3-3	問 26 3-4
4. 上記以外*	問 29 4-3	問 30 4-4
合計*	人	人

※技術者・・・建設工事の施工管理に従事する者（設計職を含む）、測量・地質調査・調査設計に従事する者。

※技能者・・・建設工事の施工に直接従事する者。

※事務系・・・人事、営業、経理、法務等に従事する者。現場事務も含む。

＝問 2-1 において貴社に所属する「技術者」のうち、女性の技術者数を 1 人以上と回答した方に伺います。
（該当の企業は必須）＝

問 2-2 貴社に所属する女性技術者が携わる業種（主たるもの）を選択してください（複数回答可）。選択した業種に人数を記入してください。（その他の記述は簡潔に記載をお願いします）

貴社に所属する女性技術者が携わる業種（主たるもの）

業種	女性 技術者 数	業種	女性 技術者 数	業種	女性 技術者 数
1 土木工事業	人	12 鉄筋工事業	人	23 造園工事業	人
2 建築工事業	人	13 ほ装工事業	人	24 さく井工事業	人
3 大工工事業	人	14 しゅんせつ工事業	人	25 建具工事業	人
4 左官工事業	人	15 板金工事業	人	26 水道施設工事業	人
5 とび・土工事業	人	16 ガラス工事業	人	27 消防施設工事業	人
6 石工事業	人	17 塗装工事業	人	28 清掃施設工事業	人
7 屋根工事業	人	18 防水工事業	人	29 解体工事業	人
8 電気工事業	人	19 内装仕上工事業	人	30 測量業	人
9 管工事業	人	20 機械器具設置工事業	人	31 地質調査業	人
10 タイル・れんが・ブロック工事業	人	21 熱絶縁工事業	人	32 建設コンサルタント	人
11 鋼構造物工事業	人	22 電気通信工事業	人	33 その他（人数・内容を簡潔にお書きください）	

＝問 2-1 において貴社に所属する「技能者」のうち、女性の技能者数を 1 人以上と回答した方に伺います。
（該当の企業は必須）＝

問 2-3 貴社に所属する女性技能者が携わる職種（主たるもの）を選択してください（複数回答可）。選択した職種に人数を記入してください。（その他の記述は簡潔に記載をお願いします）

貴社に所属する女性技能者が携わる主たる職種（主たるもの）

職種	女性技能者数	職種	女性技能者数	職種	女性技能者数
1 特殊作業員	人	18 さく岩工	人	35 左官	人
2 普通作業員	人	19 トンネル特殊工	人	36 配管工	人
3 軽作業員	人	20 トンネル作業員	人	37 はつり工	人
4 造園工	人	21 トンネル世話役	人	38 防水工	人
5 法面工	人	22 橋りょう特殊工	人	39 板金工	人
6 とび工	人	23 橋りょう塗装工	人	40 タイル工	人
7 石工	人	24 橋りょう世話役	人	41 サッシ工	人
8 ブロック工	人	25 土木一般世話役	人	42 屋根ふき工	人
9 電工	人	26 高級船員	人	43 内装工	人
10 鉄筋工	人	27 普通船員	人	44 ガラス工	人
11 鉄骨工	人	28 潜水士	人	45 建具工	人
12 塗装工	人	29 潜水連絡員	人	46 ダクト工	人
13 溶接工	人	30 潜水送気員	人	47 保温工	人
14 運転手（特殊）	人	31 山林砂防工	人	48 設備機械工	人
15 運転手（一般）	人	32 軌道工	人	49 その他（人数・内容を簡潔にお書きください）	
16 潜かん工	人	33 型わく工	人		
17 潜かん世話役	人	34 大工	人		

問2-4 2-1にて、事務系または上記以外に該当した女性数のうち、技術者をサポートしている事務系等の女性人数をご記入ください。（例：建設ディレクター、CADオペレーター、ICTオペレーター、UAVオペレーター）※正確な数値が不明の場合は概ねの数字をご記入ください。該当者がいない場合は、空欄ではなく「0」（ゼロ）と記入してください。*

（ ）人

問2-5 貴社の管理職総数と女性管理職総数をお教えてください。*

管理職*数 *

	管理職総数	
		うち女性数

管理職*	人	人
------	---	---

※一般的に、部長、課長等クラスを指し、管理職手当等が支給され、基本的に残業代の支払いがない者が該当。

3. 「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」の把握状況

問 3-1 貴社における「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」の把握状況をお教えてください。

(単一回答) *

- 1 会社として内容を把握し、毎年、社員全員に周知している.....(問 3-2 へ)
- 2 会社として内容を把握し、公表された令和 2 年に社員全員に周知したが、その後は周知していない.....(問 3-2 へ)
- 3 会社として内容を把握したが、一部の社員しか知らない(周知はしていない) (問 3-2 へ)
- 2 会社として策定されたことだけ把握していた.....(問 3-2 へ)
- 3 計画が策定されたことを知らなかった.....(問 3-3 へ)

問 3-2 「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」を何で知りましたか (単一回答)

(その他の記述は簡潔に記載をお願いします) *

- 1 (一財) 建設業振興基金の HP
- 2 国土交通省の HP
- 3 建設産業団体等の HP
- 4 新聞 (業界紙など)
- 5 参加セミナー
- 6 昨年のアンケート (建設産業における女性定着促進に関する実態等調査)
- 7 その他 (内容を簡潔にお書きください):)

問 3-3 認知度 100%を目指すにはどのような方法が効果的だと思いますか?(複数選択可)

(その他の記述は簡潔に記載をお願いします) *

- 1 ポスターを作成して、現場に掲示させる
- 2 周知用ツールを作成して、現場向け勉強会で周知する
- 3 SNS などで建設業振興基金及び国土交通省のホームページに誘導する
- 4 その他 (内容を簡潔にお書きください):)

4. 各企業の取組状況や課題認識 (取組)

問 4-1 女性活躍・定着促進のため、貴社で実施している取組はありますか? *

- 1 ある.....(問 4-2 へ)
- 2 ない.....(問 4-4 へ)

問 4-2 貴社が実施している取組は以下のどのカテゴリに当てはまりますか？（複数回答可）*（その他の記述は簡潔に記載をお願いします）

- 1 建設産業の女性定着に向けた意識改革の必要性（部下の育児休業の取得を管理職の人事評価に反映させる取組等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問 4-3 へ）
- 2 働き方改革の推進（週休 2 日制の導入、短時間の休憩時間を取得する等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問 4-3 へ）
- 3 「働きがい」と「働きやすさ」が両立できる環境の整備（育児休業・短時間勤務等柔軟な働き方の担保、職場復帰に向けた情報提供等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問 4-3 へ）
- 4 働きやすい現場の労働環境の整備（快適トイレや更衣室等の整備、女性に配慮した工具等の提供、ハラスメント講習の実施等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問 4-3 へ）
- 5 復職に向けたサポート環境の整備（建設キャリアアップシステムの活用、キャリアアップシステムに準じた能力評価基準の導入等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問 4-3 へ）
- 6 更にスキルアップできる環境を整える（女性を主体とするチームによる施工の好事例の創出、女性配置や登用に関する自主的な目標設定、Web 学習プログラムなどの職場外での技術・技能向上に向けた機会の提供など）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問 4-3 へ）
- 7 その他（内容を簡潔にお書きください）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 4-3 貴社が実施している取組のうち、主に注力している又は独自性がある取組があれば、具体的に教えて下さい。

問 4-4 貴社が取組を進めていない理由を教えてください。（複数回答可）*（その他の記述は簡潔に記載をお願いします）

- 1 取組に割ける時間がない
- 2 取組に割ける人的余裕がない
- 3 取組に割ける予算面の余裕がない
- 4 取組を実施することを想定していなかった
- 5 かつて実施していたが効果がなく取りやめた
- 6 実施を検討しているがまだ実施していない
- 7 その他（内容を簡潔にお書きください）

5. 重点テーマ1に関する各企業の取組状況や課題認識（広報活動）

問5-1 女性を含む建設業への女性活躍・入職・定着促進、魅力向上のため、貴社内外の広報活動で何か取り組んでいることはありますか？*

- 1 ある・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問5-2へ）
- 2 ない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問6-1へ）

問5-2 貴社ではどの層をターゲットとした広報活動を実施されていますか？（複数回答可）*（その他の記述は簡潔に記載をお願いします）

- 1 社内従業員家族・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問5-3へ）
- 2 小中学生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問5-3へ）
- 3 高校生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問5-3へ）
- 4 大学生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問5-3へ）
- 5 教員等学校関係者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問5-3へ）
- 6 社会人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問5-3へ）
- 7 求職者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問5-3へ）
- 8 特にターゲットを絞っていない・・・・・・・・・・・・（問5-3へ）
- 9 その他（内容を簡潔にお書きください）・・・・・・・・（問5-3へ）

問5-3 貴社ではどのような取組を行っていますか？具体的に教えて下さい。（複数回答可）*（その他の記述は簡潔に記載をお願いします）

- 1 SNSの活用（X・Instagram・Facebook・LINEなど）・・・・・・・・（問5-4へ）
- 2 動画の活用（Youtube・TikTokなど）・・・・・・・・・・・・（問5-4へ）
- 3 HPの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（問5-4へ）
- 4 イベントや講習会などの活用・・・・・・・・・・・・・・（問5-4へ）
- 5 業界団体、学校等と連携した広報活動・・・・・・・・・・・・（問5-4へ）
- 6 その他（内容を簡潔にお書きください）・・・・・・・・・・・・（問5-4へ）

問5-4 貴社が実施している取組のうち、主に注力している又は独自性のある取組があれば、具体的に教えて下さい。

例：技術者・技能者別にきめ細かい情報提供を実施。明確にターゲットを意識した戦略をたてている。具体的には、・・・

6. 重点テーマ2に関する各企業の取組状況や課題認識（新たな活動領域）

問6-1【技術者】特に貴社の中で女性活躍・定着が期待できそうな職種・分野は何だと思いますか？（職種を選択、複数回答可）*（その他の記述は簡潔に記載をお願いします）

業種	業種	業種
1 土木工事業	12 鉄筋工事業	23 造園工事業
2 建築工事業	13 ほ装工事業	24 さく井工事業
3 大工工事業	14 しゅんせつ工事業	25 建具工事業
4 左官工事業	15 板金工事業	26 水道施設工事業
5 とび・土工工事業	16 ガラス工事業	27 消防施設工事業
6 石工事業	17 塗装工事業	28 清掃施設工事業
7 屋根工事業	18 防水工事業	29 解体工事業
8 電気工事業	19 内装仕上工事業	30 測量業
9 管工事業	20 機械器具設置工事業	31 地質調査業
10 タイル・れんが・ブロック工事業	21 熱絶縁工事業	32 建設コンサルタント
11 鋼構造物工事業	22 電気通信工事業	33 その他（内容を簡潔にお書きください）

○選択した理由を記載してください。

問6-2 【技能者】特に貴社の中で女性活躍・定着が期待できそうな職種・分野は何だと思えますか？（職種を選択、複数回答可）*（その他の記述は簡潔に記載をお願いします）

職種	職種	職種
1 特殊作業員	18 さく岩工	35 左官
2 普通作業員	19 トンネル特殊工	36 配管工
3 軽作業員	20 トンネル作業員	37 はつり工
4 造園工	21 トンネル世話役	38 防水工
5 法面工	22 橋りょう特殊工	39 板金工
6 とび工	23 橋りょう塗装工	40 タイル工
7 石工	24 橋りょう世話役	41 サッシ工
8 ブロック工	25 土木一般世話役	42 屋根ふき工
9 電工	26 高級船員	43 内装工

10 鉄筋工	27 普通船員	44 ガラス工
11 鉄骨工	28 潜水士	45 建具工
12 塗装工	29 潜水連絡員	46 ダクト工
13 溶接工	30 潜水送気員	47 保温工
14 運転手（特殊）	31 山林砂防工	48 設備機械工
15 運転手（一般）	32 軌道工	49 その他（内容を簡潔にお書きください）
16 潜かん工	33 型わく工	
17 潜かん世話役	34 大工	

○選択した理由を記載してください。

問 6-3 技術者、技能者に限らない女性が活躍できそうな領域があれば教えてください。（積算や建設ディレクターなど、女性活躍に期待できそうな分野があればご自由に記載ください。）

7. 重点テーマ3に関する各企業の取組状況や課題認識（ハード・ソフト両面からの現場における環境整備）

問 7-1 貴社の事業で女性が快適に利用できるトイレ（※）はどの程度設置されていますか？*

（※ 快適トイレや女性専用トイレなどを想定しております。また、現場の都合上、作業所の近くに設置された女性専用トイレや清潔に保たれた男女兼用のトイレも含めます）

- | | |
|--------------|---------------|
| 公共工事（国発注） | 1 概ね整備されている |
| | 2 あまり整備されていない |
| | 3 全く整備されていない |
| 公共工事（都道府県発注） | 1 概ね整備されている |
| | 2 あまり整備されていない |
| | 3 全く整備されていない |
| 公共工事（市町村発注） | 1 概ね整備されている |

- | | | |
|------|---|-------------|
| | 2 | あまり整備されていない |
| | 3 | 全く整備されていない |
| 民間工事 | 1 | 概ね整備されている |
| | 2 | あまり整備されていない |
| | 3 | 全く整備されていない |

問 7-2 貴社の事業で快適に利用できる更衣室（※）はどの程度設置されていますか？*

（※ 男女別、あるいは安心して交替で利用できる更衣室も含めます）

- | | | |
|--------------|---|-------------|
| 公共工事（国発注） | 1 | 概ね整備されている |
| | 2 | あまり整備されていない |
| | 3 | 全く整備されていない |
| 公共工事（都道府県発注） | 1 | 概ね整備されている |
| | 2 | あまり整備されていない |
| | 3 | 全く整備されていない |
| 公共工事（市町村発注） | 1 | 概ね整備されている |
| | 2 | あまり整備されていない |
| | 3 | 全く整備されていない |
| 民間工事 | 1 | 概ね整備されている |
| | 2 | あまり整備されていない |
| | 3 | 全く整備されていない |

問 7-3 快適トイレ・男女別の更衣室等ハード面での設備導入を進めていく上での課題はどのようなものだとお考えですか（複数回答可）？*（その他の記述は簡潔に記載をお願いします）

- 1 現場に必要性が浸透していない
- 2 現場に女性がいない
- 3 予算が限定的で設置する余裕がない
- 4 レンタルが難しい
- 5 元請が設置しない(工事期間全体を通して)
- 6 元請が設置しない(工種の関係で、工事開始直後で設置が間に合わない)
- 7 元請が設置しない(工種の関係で、竣工間際のため撤去されている)
- 8 発注者、元請から設置を禁止されている(発注者等が指定したトイレしか使えない)
- 9 工事現場・事務所が狭隘で快適トイレが設置できない
- 10 現場付近の店舗などのトイレを利用する
- 11 通勤車両にキャンピングカーなどを用い、トイレを兼ねている
- 12 その他（内容を簡潔にお書きください）

問 7-4 【事例収集】狭い現場や小規模現場における快適トイレなど、快適トイレに関する工夫事例があれば教えてください。

問 7-5 ソフト面での環境整備やそれらの意識醸成・理解促進のために行っている施策を選択してください。(複数回答可) * (その他の記述は簡潔に記載をお願いします)

- 1 各種休暇制度 (男性を含む育児休業、生理休暇 等)
- 2 短時間勤務制
- 3 フレックスタイム制
- 4 テレワーク
- 5 ワークシェアリング
- 6 復職に関する取組
- 7 社員教育 (ワークライフバランスやハラスメントの未然防止に関する講習 等)
- 8 その他 (内容を簡潔にお書きください)

問 7-6 貴社が実施している取組のうち、主に注力している又は独自性がある取組があれば、具体的に教えて下さい。

問 7-7 女性技能者の入職および定着促進につながる取組として、会社単体では取組にくいため業界全体で取り組んで欲しいことはありますか?(複数回答可) * (その他の記述は簡潔に記載をお願いします)

- 1 女性技能者など誰もが使いやすい道具・工具の改良・開発
- 2 工具や材料などによるかぶれなど健康面への影響軽減に向けた改良・開発
- 3 妊娠・出産・育児に係る諸制度などについて事業者および雇用者の双方がわかりやすく学ぶ機会
- 4 その他 (内容を簡潔にお書きください)

大変お忙しい中ご回答いただき、ありがとうございました。頂いた内容は「建設産業における女性活躍・定着に向けた実行計画」の新計画策定の参考とさせていただきます。

以 上